さんのへ 秋まつりの今

現在、「さんのへ秋まつり」は「お通り」「中日」「お還り」の三日間にわたり開催されます。

「お通り」と「お還り」では、きらびやかな衣装に身を包んだ参加者と、この日のために長い時間をかけて制作された各町内会自慢の山車が、沿道の人びとを沸かせます。大正時代から採用されている仕掛け「ドンデン返し」は、現代の山車にも受け継がれています。町内に響き渡る「よーし、よいさー」の掛け声と子どもたちの笛や太鼓のおはやしは、街中を活気づけます。

「中日」は、地元の子どもたちや学生、婦人会などがさまざまなパフォーマンスを行い、観客を楽しませます。

地域の人たちが一丸となってつくり上げる「さんのへ秋まつり」。宝暦から行われている歴史あるこの祭りが、いつまでも受け継がれていくことを願います。

新型コロナの影響

「さんのへ秋まつり」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、残念ながら、令和2・3年度の2年連続で中止となりました。

今回は、令和2・3年度に山車制作やお囃子の練習に携り、町内会内で秋まつりを行った六日町町内会の人たちから、「さんのへ秋まつり」に対する想いを聞きました。

祭りの熱を絶やさないために

六日町町内会長
栗谷川 俊三 さん

祭りができない年は、どうしても祭りに対する熱が冷めてしまいます。「さんのへ秋まつり」が中止になった昨年は、歴史ある祭りの熱を絶やしたくないという想いから、町内会単位で秋まつりを行いました。

六日町では、小学5・6年生が小太鼓、中学3年生が大太鼓を叩きます。昨年の「さんのへ秋まつり」の中止が決定したときは、祭りで太鼓を叩けない子どもたちにも、まつりを経験させたいという気持ちから、六日町で秋まつりを開催しようと考えました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、ことしも祭りはなくなってしまいましたが、私の気持ちは昨年と変わりません。歴史ある「さんのへ秋まつり」の熱を絶やさないために、今後も祭りに携わっていきたいと思います。

協力してくれるみんなに感謝

六日町町内会　制作部長
小林 太一 さん

昨年に引き続き、ことしも中止になってしまった「さんのへ秋まつり」。やはり、寂しいですね。

祭りはないですが、仕事が終わるとみんな会館に集まって山車作りに協力してくれるので、ありがたく思っています。いつもと変わらない雰囲気で活動できていることがすごく嬉しいです。祭りを楽しみにしている人たちのため、立派な山車をみんなと協力して作っていきたいと思います。

山車を制作する小林さん

三戸の山車 歴代 最優秀賞

2013年 六日町
風流 織田信長 長篠の戦い
見返し 女暫

2012年 六日町
風流 忍者夢影と真田十勇士
見返し 真田十勇士

2010年 三戸高等学校
風流 辰夜叉御前の場
見返し 一休さんと11ぴきのねこ

2016年 六日町
風流 竹取物語「かぐや姫」
見返し 清正「大虎を討つ」

2015年 六日町
風流 錨知盛
見返し 平家蟹

2014年 六日町
風流 女自来也
見返し 鬼神のお松

2019年 久川
風流 奉祝壽連獅子令和を祝う
～歌舞伎の石橋物
獅子の舞の場面～
見返し 因幡の白うさぎ

2018年 久川
風流 義経北行伝説
～安宅の関より平泉へ～
見返し 一休さんの虎退治

2017年 六日町
風流 壽出世景清
見返し 恵比寿・大黒「大鯛を釣る」